

2024 年（令和 6 年） 8 月 27 日

逗 子 市

収納業務の効率化・経費削減・リスク軽減に取り組みます

～ 職員業務のDX ～

●令和 6 年 10 月から「税公金セルフ収納機」及び「入出金機オンラインシステム」を導入

市税、国民健康保険料、介護保険料などの支払から釣銭・領収書の受取までを、完全セルフで行うことができます。

また、これまで対面により行ってきた、市庁舎内の指定金融機関（株式会社横浜銀行）による派出所を廃止し、委託費や職員の配置にかかる経費を削減します。7 年間で、約 1,000 万円の削減効果を見込んでいます。（派出所の廃止は、県内では本市が初めての取組です。）



当分の間、操作案内職員を配置する等納付者の利便性を確保しつつ、現金取扱い及び納付書集計等を自動化するほか、入出金機オンラインシステムの導入による現金回収業務を組み合わせることにより、事務処理の正確性・安全性が向上し、業務の効率化及びリスク軽減に繋がります。

なお、税公金セルフ収納機は、従前の派出所と同様に現金支払のみの対応となります。

●経費削減額

現行 委託料（561 万 4,000 円/年）× 7 年＝ 3,930 万円 …①

導入後 イニシャルコスト 537 万円

ランニングコスト（7 年間） 2,321 万円

計 2,858 万円 …②

削減額 ①－②＝1,072 万円

（購入機器の耐用年数を 7 年として、7 年間の削減効果を試算したもの。）

●スケジュール

9 月 利用者へ周知

10 月 税公金セルフ収納機及び入出金機オンラインシステムの利用開始

11 月 派出所の廃止

本件に関するお問い合わせ先：

会計課 西平・宗像

電話：046-873-1111 内線 200、201